

# ☉ 議会だより

発行編集：日之影町議会報編集委員会



## ドクターヘリの訓練状況

平成23年度 一般会計補正予算	.....	p 2
平成24年度 施政方針に対する総括質疑	.....	p 2
一般会計予算	.....	p 3
予算審査特別委員会報告等	.....	p 3
一般質問 (7名)	.....	p 5~7

# ■平成23年度一般会計・特別会計補正予算

## 第1回定例会

一般会計	歳入歳出補正	9,731千円
	補正後の額	46億98,623千円
歳入の主なもの	地方交付税	2億98,557千円
	繰入金(減)	2億67,578千円
歳出の主なもの	繰り出し金	52,000千円(病院事業会計へ)

(単位：千円)

特別会計	歳入歳出補正額	補正後の額
病院事業会計	4,000	720,565
国保事業会計	24,204	831,712
簡水事業会計	115	73,796
奨学資金会計	△827	7,992
介護保険会計	5,663	628,956
後期高齢会計	△1,716	51,182

※ 国保事業会計は、国・県の支出金、共同事業の確定による補正。  
介護保険会計の補正は、制度改革及び高額介護給付費の増加等の補正。

第1回3月定例会は、会期3月6日から22日まで開催され、町長提案28件、議員発議1件を慎重審議し、原案どおり可決した。  
一般質問には、5名が登壇し、7項目について、町政を質した。

### 平成24年度の施政方針に対する総括質疑

#### ■総務文教常任委員会

##### 町立病院について

**問** 町民の安全、安心の拠点である町立病院も少子高齢化、社会情勢の変化等により、入院・外来患者も漸減の状況にある。費用対効果のみでは論じられないが、社会的入院等、地域の高齢者福祉の役割を担っているのも現実である。これらの状況を踏まえ今後の町立病院の中長期的な取り組みと展望を問う。

**町長** 医療費の削減が求められる昨今、病院経営は様々な制約を受け大変厳しい局面にある。他方、高齢化・過疎化が進行する中で、今後の病院をどうすべきか、国保運営協議会等でも常に議論されている。拙速に結論は出せないが、病院にしておくのか、診療所体制とするのか、今日的検討課題と考察する。

#### ■経済建設常任委員会

農林業の補助事業制度の要件見直しについて

**問** 企業誘致が厳しい今日、基幹産業としての農林業の重要性が益々高まっている。本町は、他の自治体に比較して多くの補助事業による農林業振興策に取り組み高く評価するが、更にやる気のある就業者育成のために、補助事業を導入出来る様に採択基準の見直しをすべきではないか、見解を問う。

**町長** 農林業の振興については、町独自の助成制度を設け、振興に努めている。国・県の制度に合わないのが本町農林業の実態である。

他方、独自の支援策は、当然一般財源が伴い財政的な制約を受けるので、新たな事業の採択は厳しい。

##### 住環境の整備について

**問** 一級河川五ヶ瀬川をはじめ、

日之影川とその支流の多くの河川が流れる本町は、河川汚濁防止のため、更に住環境の整備については様々な事業・施策が講じられて来たが、合併浄化槽の整備についても、年々整備が進んでいく中で、地域によっては、諸般の事情で設置できないのが実態である。これらの地区に対する施策を問う。

**町長** 河川の汚濁防止、住環境の整備については、鋭意取り組んでいるところである。特に、合併浄化槽の設置に対しては、国、県の補助に町独自の上乗せした助成を行っているところである。ご指摘のあった地域は、排水路の設置について、地元の用水組合との合意が得られず補助の対象となつたが、事業が執行出来ないとのことである。町内各地で行われた当該事業は、全て地元の合意が得られているので、当事者で充分協議され取り組んで頂きたい。

# 平成24年度 一般会計予算

## 総額43億4,200万円

(対前年比 9,000万円 2%減)

### ■主な歳出

議会費	報酬・議員共済会費 担金等	五九、一九七千円
総務費	癒しの森運動公園駐 車場整備事業費等	七〇二、〇八二千円
民生費	国民健康保険事業繰 出金等	八四一、六五二千円
衛生費	病院事業繰出金等	三九〇、三九二千円
農林水産業費		五九五、九〇四千円
工商費	観光施設改修事業費 等	一二七、六七六千円
土木費	仲畑住宅トイレ改修 事業費等	三五〇、八一六千円
消防費	耐震性貯水槽設置事 業費等	七〇、九一八千円
教育費	給食施設改修工事費 等	二八〇、四四四千円
災害復旧費	過年発生土木災害復 旧事業費等	三二、五二〇千円
公債費		八六七、八六四千円

### 予算審査特別委員会

#### ■委員長報告(要旨)

委員長 福田裕生

予算審査特別委員会に付託された議案「平成24年度日之影町一般会計予算」から「日之影町後期高齢者医療特別会計」までの8議案についての、審査の過程と結果を報告します。

審査の過程では、施政方針6つの重点施策と持続可能な中山間地域づくりのための、集落の活性化、日常生活の維持・充実、産業振興の重点施策等について目的・効果・公平・構成の観点から質疑が行われました。

一般会計予算は、一部制度事業の終了により、対前年度比2.0%減の43億4,200万円で構成されています。

また、国民健康保険事業特別会計や介護保険特別会計については、医療費の増加及び介護サービス給付費の増により、対前年比で増額の予算となっています。高齢者比率が40%を超える本町にあつては、扶助費・医療費及び介護給費等の増が予測され、自主財源の少ない本町にあつては、厳しい財政運営が求められます。したがって、予算執行にあたっては、財政の健全化は元より、事業の投資効果も十分精査し、効率的な財政運営が肝要であります。

平成24年度施政方針により編成された、平成24年度の各会計の予算案は、本会議において原案とおり可決すべきものと決定しました。

### 所管事務調査報告

#### ■総務文教常任委員会

##### ◎フラワーパークのぞみ工房

八戸作業所から名称変更し、県の障がい者自立支援基盤整備事業により椎茸食品乾燥機、芝刈機等も整備、3月末の作業棟、乾燥室棟の完成で整備完了予定。利用者、日平均10〜12人、平均工賃も県水準(約1万円)を確保、概ね順調な運営。

今後、町民の十分な理解を得るための施設見学、啓発活動が利用者の発掘・諸作業の委託・技術支援等に繋がると思われ、地元地域社会との継続的交流連携が肝要であり、新しい形での地域おこし活性化の拠点となるべき発展を期待する。

##### ◎深角消防ポンプ車庫・防火水槽

昭和40年代建築で老朽化し、狭あいな谷川沿い民有地にあり、主要道へのアクセスの悪さ等弊害があり移転の必要性が議論されてきた。今後広域農道等の整備

により隣接町を含めた消防活動も予想され、地元住民の理解協力を得て、団七の館に隣接する形で整備が望ましいと考える。

防火水槽については、中央自動車道の事業との関係推移を見守るとの結論である。

#### ■経済建設常任委員会

##### ◎深角地区

\* 国道の歩道改良及び設置  
改良はすぐに対応された。設置は国道の路線変更等で可能と考える。

\* 広域農道と国道との交差点への信号設置  
死亡事故発生箇所であり、工事の進捗に連れ、交通量が増大する。広域農道完成までには設置が必要である。

管理者の県に対し本町から強く要望すべき。

##### ◎宮水地区

\* 日本舗道横と甲斐歯科院横の町道等改良  
2箇所とも国道と接続する所であり、

事故防止、地域住民の安全確保の観点からも改良が必要。今後、路線変更を含め地権者と十分協議の上、施工すべきである。

◎平成23年度鳥獣被害防止総合対策交付金事業

14地区の延べ約13kmの設置で効果が期待される。今後は小集落や高齢化集落等、設置の希望があっても自力施工が困難な地区への対策が望まれる。

◎平成20年度農村漁村活性化プロジェクト事業（椎茸生産施設）

3工区（下小原）合わせて4,000万円の事業費で完成したものである。各工区とも年間の使用料が5万円前後であり、施設を十分に活用して冬場での良品採り等、質量ともに他の生産者の模範となつて励んでいただきたい。

◎平成23年度園芸産地基盤強化緊急整備事業（タリアハウス）

本年度、4名が総面積1,430㎡のハウスを総額1,730万円、県・町・本人、各3分の1の負担で建設した。現在8名が栽培され、生産地の秋田県を視察した人もいる。非常に技術のある生産者を中心に努力され、本町の標高にあつた花で日之影の花にしたいとの事である。反収のあがる作物としてのタリアの栽培が更に発展する事を望むとともに今後の行政の支援が不可欠であると考ええる。

人権擁護委員の推薦

押方光徳氏と細木栄子氏を引き続き推薦することに決定。

専決処分の承認

東日本大震災への税制上の対応に伴う地方税法等の一部を改正する法律が、平成23年12月14日に施行されたことに伴う改正であり、本町条例の一部改正を行うもの。

主な改正内容は

既に実施されている、東日本大震災に係る雑損控除の特例等の規定の整備が行われた。

専決処分の承認

一級町道影待岩戸線の影待から長谷川集落間は、平成23年12月9日に、法面上部が崩壊し、通行不可能な状態となり、長谷川集落と県道北方高千穂線を結ぶ重要路線でもあり、測量・調査・設計の委託業務を早急に実施する必要があるため、社会資本整備総合交付金事業費の予算の組み替えを行うもの。

条例改正

特別会計条例の一部改正

災害復興資金の貸付について、一般会計で予算化し運用するため、日之影町災害復興資金事業特別会計を削除。

日之影町税条例の一部改正

◇ 平成25年度から町たばこ税を旧3級品以外を1000本につき644円、旧3級品を305円引き上げる。

◇ 平成26年度から35年度までの各年度分の個人住民税に限り、均等割額を500円引き上げる。

◇ 平成25年1月1日以後に支払われるべき退職所得に係る個人住民税の10%税額控除の廃止等の改正。

日之影町使用料及び手数料徴収条例の一部改正

高齢者コミュニティセンターの和室の削除及び会議室の追加、癒しの森運動公園については、管理棟の追加、八戸多目的広場については、町外の利用者があるため追加。

日之影町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正

本町から障害児施設に入所していた者が、18歳に達して障害者施設に入所した場合の医療費助成については、居住地特例を適用させ、本町で助成。

日之影町介護保険条例の一部改正

平成24年度から平成26年度までの標準的な介護保険料を年額58,800円、月額4,900円に改正。

日之影町営住宅管理条例の一部改正

関係法律の整備に関する法律が施行されたことによる改正であり、語句の改正及び入居資格に暴力団員でないこと、町税等の滞納がないことを加え、条件等によつては、独身者の入居が可能となる。

農林生産施設設置及び管理等に関する条例の一部改正

追川地区に整備した人口ほた場を追加。

(株)もくみ検討特別委員会の設置

経営改善に向けて、(株)もくみの経営状況を的確に把握し、課題解決の検証・検討を協議するため。

意見書の提出

国に対し国民の権利を支える行政サービスの確保を求めらるもので内容は次のとおり。

○ 財源や権限の移譲を明確にしないままでの、地方に犠牲を強いる恐れのある「地域主権改革」は行わないこと。

○ 国の地方出先機関の統廃合により、行政サービスの低下を招くことのないよう万全の措置を講ずること。

# 一 般 質 問

## 「学校教育政策について」

飯 干 靜 香



元気にかけまわる児童

体力の向上は

いじめは大丈夫か

**問** 子どもの頃から、体力づくりの習慣をつけておくことが大切である。

**精長** 「食に関する指導」という領域は、全ての学校で、指導の全体計画を作成し、到達目標を立てている。学年に応じて、適切な指導をし、特に家庭・地域との連携を取りながら、食に関する「給食だより」・試食会・情報提供・体験活動・調査交流給食・講演会等を実施している。また、関係機関の実施する行事や、コンクールなどに参加している。更に24年度からは、各学校とも「弁当の日」を実施する。

**問** 「いじめ」は、子ども・大人社会も同じで相手の人格・人権を踏みにしり、生命を脅かすもので見えない所で人に気付かれないように、様々な形で行われるもので、日常生活の表面では、「いじめ」を見つけていることは極めて困難である。

**精長** 毎月「生活指導現況報告書」が学校から提出されるが、平成23年度は1件も「いじめ」の報告はなかった。毎月、全職員による「いじめ・不登校対策委員会」を開き、情報交換を行っている。また、保護者、地域からの情報・会合等での報告・職員研修を計画的に実施し、「いじめ」が起こらない環境づくりと、早期発見・解決に努めている。悩み相談や、警察署に講話の依頼をして、非行・犯罪防止対策にも取り組んでいる。

食育の在り方は

**問** 平成24年度の半ばから、小学校の給食が完備され、学校給食が自校調理方式から給食センター（宮水小）方式に移行されることになっているが、これによって、給食調理の合理化・衛生管理の充実・町内農産物の食料の調達合理化・給食調理員の負担軽減と人件費の削減などが図られるものと考えられる。

**精長** これからの家庭の食生活を含め、学校教育としての食育の在り方は。

**問** 日之影町で行う「弁当の日」とは。

**精長** 弁当は子どもが作ります。給食の日は出来るだけ避けたいが、すれば食材などの買い物も考えて月曜日が相応しいが、基本的には遠足の日に実施したい。

**問** 新体力テスト等の結果を参考に「体力プラン」を作成し、体育の指導時間の充実を図っている。個人の目標を具体的にたせ、5段階評価の取り組みと、学校・家庭・地域での健康的なライフスタイルを行っている。またスポーツ少年団との連携や、スポーツイベントの参加呼びかけをしている。体力向上は、食と密接な関係があるので、保健指導を行っていることもあってインフルエンザの感染も、最小限に抑えることが出来る。

中学生は、夏休みに、森林ウォーキング道3コースの体験学習も行っている。

## 「ドクターヘリ導入事業への対応について」

坂 本 和 雄



4月導入のドクターヘリ

**問** 出勤要請基準を満たす事態が発生した場合の対応は。

**町長** 消防非常備町村においては、役場職員の判断で、ドクターヘリ要請ホットラインを通じて役場から要請する。

**問** 非常備消防の本町における消防団の出動態勢と位置づけ、処遇等は。

**町長** 消防団の役割は、離着陸場の安全確保等の支援活動が主なものとなるが、休日又は遠隔地については、地元消防団の支援活動の要請も考察される。処遇は出動手当で対応する。

**問** 本町におけるランデブーポイント（ヘリポートの基地）は。

**町長** 平底癒しの森運動公園、中学校グラウンド、八戸憩いの広場、高巣野小グラウンド、宮水小グラウンド、長谷川高齢者センター、鹿川交流センターの7箇所である。見立地区については、仲村地区の調査を依頼している。

**問** ドクターヘリの導入により常備消防の設置が課題となり、取り組みが求められるのではないか。

**町長** 現在、西臼杵3町で検討会を立ち上げ協議を行

なっている。消防の常備化は時代の要請であり、特に救急態勢の整備が急務であると認識している。

**問** 中学校の学習指導要領改訂への取り組みについて

**町長** 本町が取り組む必修科目は。

**教育長** 地域の実態に合わせて、剣道を選択した。

**問** 採用する科目に対する事前準備等対応は。

**教育長** 県教委が主催する講習会に既に参加済みであり、更に郡内の剣道の専門家による中体連の研修会において指導法や情報交換を行い、工夫改善の努力を行なっている。

**問** 今回の改訂に対しては、安全面から批判の向きもある。安全面の対策、取り組みは。

**教育長** 防具の正しい付け方が出来るように徹底した指導を行い、竹刀等を使用して

# 「救急業務について」

大村直登



尊い命を安全に

**問** 患者の所在地まで最短時間で到着する体制は整備されているのか。

**町長** 救急車要請場所の分からない所は出発前にゼンリンの住宅地図で確認し出動している。特に夜間等は、道が分かりにくく苦労しているとのことであり、救急車の無線を使用し警備員から情報を知らせるようにしている。

**問** 患者に対して救急業務等の何らかの手当ができる人材は、乗車しているのか。

**町長** 3月18日までは、一般の方でも実施できる応急処置のみであった。本町職員1名が消防学校で消防吏員となり救急標準課程を修了し、消防署救急隊で2ヶ月の実践活動研修を終了、3月19日から平日は救急隊員として出動するが、休日・夜間は今までの態勢である。今後、救急態勢の整備が急務であり、1年でも早い消防の常備化が必要であると考える。

**町長** 平日の午前8時30分から午後5時までは、役場総務課職員で対応、5時以降及び休日等は、役場の警備員からの出動要請で委託業者が直ちに出動できる態勢をとっておくよう指導している。

**問** 履修のための用具、施設の整備は。

**教育長** 平成22年度に剣道の防具等、竹刀を40セット教材備品として購入整備した。活動の場は、広い体育館なので十分な間隔が確保されている。

活動するときは、事前に竹刀等の点検を十分に行い、さらに、礼法、基本動作が大事であることを、しっかりと指導している。

**問** 市町村が救急業務を開始して50年。県は、防災ヘリを運航、今年4月からドクターヘリも運航予定の中で、病院・ヘリポートまで患者をいつでも最短時間で搬送する体制は整備されているか。

活動するときは、事前に竹刀等の点検を十分に行い、さらに、礼法、基本動作が大事であることを、しっかりと指導している。

## 「教育行政」

教育環境特に通学道の整備は大丈夫か

## 「土木行政」

工事発注はバランスよくスピーディに行われているか



急がれる歩道整備

甲斐喜夫

要望を受けているが、各担当課を通じてそれぞれ実施している。大規模林道等の蓋掛け工事・八戸上県道の側溝蓋掛け工事・宮水地区のガードパイプ設置・西深角歩道の拡幅実施、安全柵のパイプ設置はまだ実施されていない。

**問** 「安全安心で利便性に富んだ町づくり」「子供達を心豊かに育てる教育のまちづくり」の観点から教育環境の充実、特に通行量が多いにもかかわらず、歩道がないために非常に危険性の高い箇所があり、地元公民館・PTAを通じて要望等も毎年あり、どのように取り組み、また関係機関等に要望なり要請をされているかその経緯は・・・。

**町長** 要望された安全施設の件については、十分承知している。今後引き続き、県当局とも十分協議をしながら一刻も早く早急な整備ができるよう県当局に力強く要望していきたい。

**教育長** 教育環境の充実という面で、今日、地区公民館・PTAで整備、充実について

**問** 工事施工の発注関係についてであります。町には多数の建設会社があり、企業誘致の代わりとなる「雇

## 「観光行政について」

甲斐健司

**問** 古事記編さん1300年に向けての本町としての、事業展開、諸活動を問う。

**町長** 本町は、古事記、日本書紀や伝説等にゆかりがあるものとして、袴谷や日之影町の地名、由来などがあり、更には町指定の「日之影神楽」も保存・伝承していることから、積極的に「神話のふるさと」をPRしていきたい。

具体的な取り組みとしては、本町深角出身の県の文化財保

護審議会会長の甲斐亮典先生をお招きして、これらの理解の促進を図るための講演会やセミナーを開催したい。また、全県的な催し等の展開の中で、本町独自の行事や、イベント・祭りにおいて「古事記編さん1300年」をテーマとした事業を展開し、賑わいの創出、経済の活性化を図ってきたい。具体的には、石垣の村棚田まつり・日之影神楽祭り・中川チューリップ祭り・ひのかけ深谷祭りなどをはじめ

10月である。また災害等について工事ができる交付決定は、7月から9月で、入札は10月から12月もしくは年明けの1月から2月になることがある。国の制度上難しい問題である。

**町長** 本町では従来の指名競争入札を実施している。7月から9月それから測量・設計等で工事発注は9月から

**問** 特に災害復旧等、査定から工事発注までが長すぎる。ややもすると二次災害が発生し、工事にかかる事業費も増大することも考えられる。今後、もっとバランスよ

**町長** 現在のシステムでは難しいと判断する。国・県の補助事業になると、どうしても年度末に集中する。このようなことから国の事業等は無理と思うが町単独事業なら対応できる。今後、発注については、できるだけバランスよくスピーディに実施していく。

め、他の都市等の交流や物産展などの県内外イベントでの情報発信・誘客活動を行ってきたい。

**問** 本町には、四季折々の自然、すぐれた伝統文化、史跡等、観光客を誘致する潜在力があり、これらを活用することにより、地域経済の活性化、促進に貢献すると思われるが。

**町長** 町内は元より、北部広域行政事務組合で、各地域における神話や伝説の冊子を作成し、面的な情報発信にも取り組んでいきたい。

いスピーディな工事発注を希望するが・・・。

## 議会への要望

深角自治公民館

- 一、消防ポンプ積載車庫及び防火水槽の整備について
- 一、国道218号の歩道整備と信号機設置について

議会にご案内を頂き有り難うございました。

### ◆ 小崎神社例祭

(小崎公民館)

### ◆ 八戸観音祭イベント

(八戸地区推進協議会)

### ◆ 平清水神社大祭

(平瀬水公民館)

### ◆ 八戸稻荷神社初午大祭

(八戸本通り公民館)



完成した のぞみ工房

## 議会のうごき

(平成24年1月～平成24年4月)

1月11日(水)	平成24年新年交通安全祈願祭(高千穂神社)	15日(日)	第22回新春少年の主張発表大会(町民センター)	19日(木)	深角自治公民館要望宮水小学校給食体験	2月1日(水)	3日(金)	九州中央自動車道建設促進沿線協議会協議会提言活動(福岡・東京)	2日(木)	経済建設常任委員会所管事務調査(深角・宮水・新町・下小原・矢形の)	4日(土)	小崎神社例祭	5日(日)	八戸観音祭イベント(八戸黎明館)	6日(月)	景観講演会(福祉館)	8日(水)	郡議長会定例会(五ヶ瀬町)	10日(金)	議会との意見交換会(林道竹の原諸和久線「諸和久橋」開通式及び祝賀会)	11日(土)	平清水神社大祭	12日(日)	第28回「日之影町民のつどい」(宮水小学校)	13日(月)	郡監査委員協議会研修会(高千穂)	14日(火)	県監査委員協議会定期総会・研修会(宮崎)																																																			
15日(水)	宮崎県農政水産部講演会(高千穂)	16日(木)	総務文教常任委員会所管事務調査(のぞみ工房・深角消防車庫・サールーム「福寿想」)	19日(日)	宮崎地区日之影町人会(宮崎)	21日(火)	平田健二参議院議長就任祝賀会(延岡)	23日(木)	西臼杵郡林業活性化協議会視察研修(諸塚村)	24日(金)	宮崎県北部広域議会事務組合定期総会(延岡)	25日(土)	延岡地区日之影町人会(延岡)	26日(日)	八戸稲荷神社初午大祭	27日(月)	鳥獣被害防止柵に関する現地検討会(高千穂)	29日(水)	農業委員会との意見交換会(研修館)	3月1日(木)	高千穂高校卒業式	3日(土)	五ヶ瀬中等教育学校卒業式	6日(火)	平成24年第1回定例会(開会) 全員協議会	8日(木)	平成24年第1回定例会(総括質疑) もくみ検討特別委員会議会運営委員会・全員協議会 県道向山日之影線成同盟会現地と要望	9日(金)		15日(水)	障害福祉サービスマ事業所等説明会(高千穂)	16日(木)	あさひの森植林整備(石峠)	17日(金)	二子山災害慰霊祭(諸塚村セツ山)	18日(土)	予算審査特別委員会	19日(日)	日之影中学校卒業式	20日(月)	主要地方道日之影宇目線整備促進要望(大分県庁)	21日(火)	平成24年第1回定例会(一般質問)	22日(水)	平成24年第1回定例会(閉会)	23日(木)	議会報編集委員会	24日(金)	町内小学校卒業式	25日(土)	議会報編集委員会	26日(日)	西臼杵郡衛生組合議会	27日(月)	老人福祉大学・高齢者教室卒業式	28日(火)	「フラワーパーク」のぞみ工房」作業棟落成祝賀会	29日(水)	日之影町消防団員辞令交付式	30日(木)	議会報編集委員会	31日(金)	議会報編集委員会	4月1日(日)	中川チューリップまつり	9日(月)	高城山山開き	10日(火)	日之影中学校入学式 全員協議会	11日(水)	旭化成との交流会	12日(木)	高千穂高校入学式	13日(金)	各小学校入学式	14日(土)	戦没者慰霊祭	15日(日)	西臼杵郡議長会総会

## 編集後記

今年、例年になく春への足取りが遅く感じられましたが、3月も半ばを過ぎますと、さすがに春への歩幅が大きくなり、花の便りも聞かれる様になりました。振り返って、昨年の当節は、記録的な異常渇水に見舞われ、飲料水が枯渇する集落もございましたが、本年は、乾季にも珍しく降雨に恵まれ、水不足からは解放されました。昨年の3月11日に発生いたしました、東日本大震災に見る自然の猛威を考え合わせますと、人知の及ばない大自然の営みに、改めて畏敬の思いを強くいたします。

春は、別離と出会いの季節であり、日之影中学校では、34名の生徒が遅しく成長し、それぞれの目標に向かって巣立って行きました。彼らの希望に満ちた凛々しい面立ちに接し、当方が勇気づけられ、明るい展望を予感しました。

次の時代を担う若者に、幸多かれと祈るや切。

K・S